

## 障害者のニーズを反映した災害時避難体制構築手法の検討

徳島大学 正会員 ○金井純子

徳島大学 正会員 中野晋

香川大学 正会員 野々村敦子

徳島県社会福祉事業団 非会員 清重健次

### 1. はじめに

東日本大震災における障害者の死亡率は健常者の2倍、災害関連死の3割は避難生活が原因である。避難所では、医療用具、薬、介護用品の不足、車椅子での移動の困難など、障害者は厳しい環境を強いられた。自閉症をはじめとする発達障害者はうつ状態やパニックに陥り、人口呼吸器や吸引器等の医療器具を常用している人たちの命が危険にさらされた。平成25年、内閣府は「避難行動要支援者の避難支援に関する取組方針」及び「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を示した。次の大規模災害が想定されている地域において、災害時要援護者対策に対する社会的要請が高まる中で、社会福祉施設を中心に福祉避難所指定数は序々に増えているが、障害者を想定した支援体制は整っていない。

本研究の目的は、障害者のニーズを反映した災害時の避難体制づくりであり、大学と社会福祉法人が連携して、障害者施設の事業継続を軸とした実践モデルの構築を目指している。

### 2. 障害者施設の事業継続を軸とした実践モデルの取り組み（経緯）

平成25年から、徳島大学環境防災研究センターは徳島県社会福祉事業団と共同で、南海トラフ巨大地震を想定した防災対策に取り組んできた。事業団は徳島市内にある3つの事業所を運営しており、障害者入所施設希望の郷では、平成25年から災害時アクションカードを活用した職員の避難誘導訓練を開始し、共同生活援助事業あけぼのホームでは、平成26年から利用者の障害特性を踏まえた役割分担で、利用者主体の津波避難訓練に取り組んでいる（図-1）。この2つの事業所は津波浸水エリアに立地しているため、避難に重点を置いた訓練を重ねてきたが、今年度は、津波浸水の危険が無い障害児入所施設未来を対象に、福祉避難所運営を含むBCP研修会を実施した（図-2）。

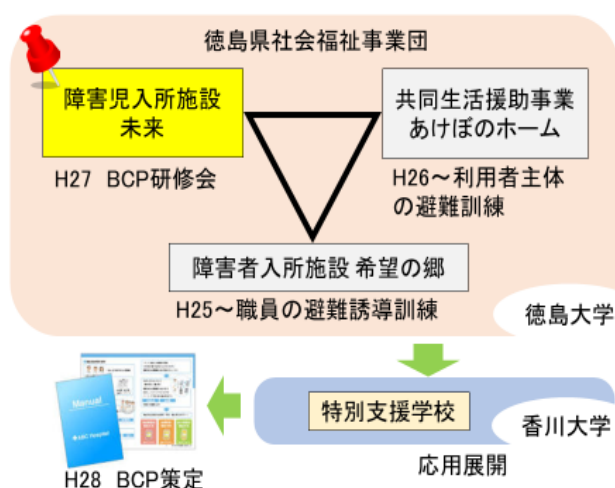


図-1 障害者施設の事業継続を軸とした実践モデル図

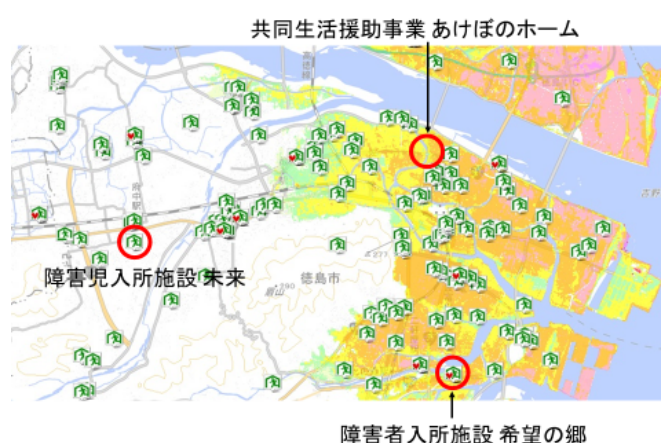


図-2 津波浸水マップにおける施設の位置

### 3. 障害児入所施設未来でのBCP研修会

平成27年12月4日、徳島市国府町にある障害児入所施設未来にて、施設職員と国府支援学校の教職員、計9名を対象にBCP研修会を実施した（写真-1）。研修は、施設の災害のリスクを把握し、福祉避難所運営を含む事業継続に必要な備えを検討することを目的として、「未来周辺の災害環境について」（座学30分）と、「災害時の

応急対応の手順と課題」(グループワーク 1 時間)を行った。座学では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に施設周辺で予想される揺れや液状化の危険性(津波浸水の危険性は無いことを確認)、過去の風水害や竜巻について学習した。グループワークでは、南海トラフ巨大地震発生から 3 日間をイメージし、2 グループに分かれて意見を出し合った。その結果、児童のメンタルケア、部屋の使い方、職員の役割分担などが大きな課題であることが分かった(表-1)。

以上の結果を踏まえて、平成 28 年 3 月 16 日に開催する第 2 回 BCP 研修会では、避難所 HUG(避難所運営ゲーム)の手法を取り入れた、応急対応のシミュレーション訓練を実施する。訓練ツールとして、施設に実在する児童の障害特性を記した児童カード、職員カードを試作した。実際の施設の平面図上に実在する人物カードを配置しながら、児童の障害特性に応じた部屋割りや避難者のスペースはどうするか、職員の役割分担はどうするかなど、具体的なイメージや課題抽出ができると期待する。研修会の成果は、技術研究発表会で報告する。なお、訓練ツールの使用については、避難所 HUG の著作権者である静岡県に使用許諾申請書を提出する予定である。

(本研究は、文科省平成 27 年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業(連携型)」の助成金を受けたものです。)

表-1 第 1 回 BCP 研修会のグループワーク「災害時の応急対応の手順と課題」の結果

| 応急対応           | 必要なもの                  | 課題                     |
|----------------|------------------------|------------------------|
| 職員の役割分担        |                        | 職員の役割分担                |
| 建物や居室の被害状況の確認  |                        |                        |
| 周辺の情報収集        |                        |                        |
| 部屋割り・児童の居場所の確保 | 名簿、平面図                 | 部屋の使い方                 |
| ケガの処置          | 薬、懐中電灯                 | 医療、衛生<br>てんかん発作など急患の対応 |
| 児童の情緒を安定させる    | 毛布、おもちゃ、日課             | 長期的な対応                 |
| 保護者への安否連絡      |                        | 緊急時の連絡体制               |
| 暗さの対策          | 懐中電灯                   | 非常用発電機の使い方、使用制限        |
| 排泄             | 水を使わずに使える簡易トイレ         | トイレの場所、方法(ビニール袋等)      |
| 食事             | 非常食、水、調理器具<br>アレルギー対応食 | 住民らの食事                 |
| 寒さ対策           | 暖房機・衣類・毛布              |                        |
| 就寝             | 寝具                     |                        |
| 服薬             | 薬、水、薬の管理表              | 薬の管理、飲み間違いの防止          |
| 職員の招集          | 連絡ツール                  |                        |



写真-1 第 1 回 BCP 研修会の様子

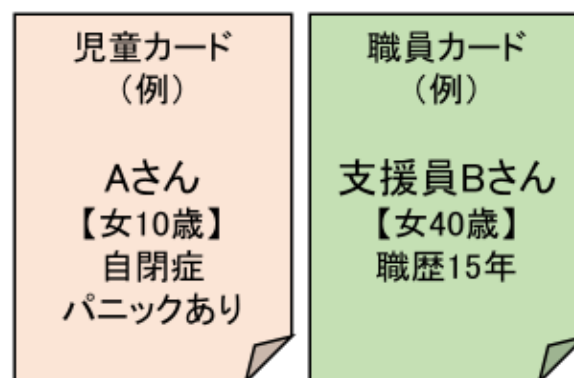


図-3 試作した人物カードの例